

帆船日本丸&横浜みなと博物館

* 横浜港のシンボリック的存在 *④

帆船日本丸とともに、海・船・港 のロマンを伝える

■横浜みなと博物館 リニューアルオープン

日本を代表する国際貿易港の横浜港。この横浜港を知り、学び、楽しむことができる「市民のための博物館」を使命として、展示事業、教育普及事業、ライブラリー事業などの博物館活動を展開してきた「横浜みなと博物館」が、6月9日にリニューアルオープンした。横浜みなと博物館は、1989(平成元)年3月に横浜開港130周年を記念して「横浜マリタイムミュージアム」としてオープンしたが、2009(平成4)年4月に名称を「横浜みなと博物館」とし「歴史と暮らしのなかの横浜港」をテーマに親しまれてきた。

今回のリニューアルでは、開港の歴史を模型と大型映像で演出して展示したほか、港をダイナミックに体感できるVR(バーチャルリアリティ)シアターなど、体験型コンテンツを充実させている。

■映像展示「横浜開港」

縦4m、横8mからなる大型スクリーンが、横浜開港に至るまでの日米間の交渉を迫力ある映像で紹介。リアルな黒船の模型が波間を漂うような映像の演出で、見る人を開港当時に誘う。

■VRシアター「みなとカプセル」

日本初の大規模LEDパネル5面(前、左右、天井、床)で覆われた常設展示型VR施設で、カプセルの中では、大迫力の映像とサラウンド音声によって、あたかもそこにいるような感覚が楽しめる。

■横浜港をテーマに沿って紹介

◆横浜港の歴史ゾーン

開港から約160年の横浜港の歴史を7つの時代に分けて振り返り、開港前の吉田新田や横浜村の時代からペリー来航、大さん橋建設などを通じて、現代の横浜港までを紹介している。

◆横浜港の再発見ゾーン

横浜港のふ頭、帆船日本丸と船員養成、姉妹港・友好港・貿易協力港との交流などについて学ぶことができる。

◆「埋立と築港の技術と歴史」の展示室

江戸時代の新田開発から現在の新本牧ふ頭の建設まで横浜の埋め立ての歴史を学ぶことができる。